

**農産物ブランド認証書交付式**  
東地域の耕作放棄地を活用し地域を活性化

10月15日、白河の誇る優れた農産物や加工品であることを認める「白河ブランド」の認証書交付式が行われました。今回認証されたのは、野出島地域活性化プロジェクト（鈴木勝美会長）の「なたね油」と「のでじまうどん」の2品で、いずれも耕作放棄地を再整備して栽培したなたねと小麦を使用したものです。鈴木会長は、「認証されたことを励みに、地域の夢が広がる活動につなげたい」と話しました。これで白河ブランドの認証は15品目となりました。



▲認証書を手にする鈴木会長（左から2番目）と本宮直副会長

**第59回白河市発明展**  
アイデア光る作品の中から20点が入賞

9月12日から17日まで、市立図書館（道場小路）で「第59回白河市発明展」が開催されました。市内の小・中学校から398点の作品が出品され、審査の結果、鈴木理香子さん（白二中1年）の「地震探知機」が市長賞に、そのほか合計20点が入賞作品に選ばれました。期間中に訪れた900人を超える来場者は、児童・生徒たちのアイデアと想像力あふれる作品の数々に、感心しながら鑑賞していました。



▲受賞した皆さん

**新日本プロレス白河大会**  
1,000人を超す大歓声がリングを包む

10月16日、中央体育館（北中川原）で「新日本プロレス白河大会」が開催されました。この大会は公益社団法人白河青年会議所の創立55周年記念プロジェクト「新日本プロレスからのメッセージ」の一環で行われたものです。高校生以下が無料で入場できたこともあり、会場には多くの子どもたちの姿が見られました。リング上での手に汗握る試合展開や、各選手が見せるアクションに、1,000人を超える来場者からは、終始大きな拍手や大歓声がわき起こっていました。



▲迫力のある試合展開に見入る来場者

まちの話題やイベント  
を皆さんに  
まち  
Topics



**がんばるぞ！白河 食と職の市**  
多くの来場者が秋の恒例イベントを楽しむ

▲料理のコツを伝授する野崎さん

10月12日・13日の2日間、JR白河駅前イベント広場と市立図書館（道場小路）で「がんばるぞ！白河 食と職の市」が開催されました。白河地方などの飲食店ブースが多数並んだ「食」の会場や、様々な体験コーナーが設けられた「職」の会場にはたくさんの来場者が詰め掛け、それぞれ楽しむ姿が見られました。ステージイベントでは、本市の“しらかわ大使”を務める分とく山総料理長の野崎洋光さんが料理のコツを話したほか、本市出身の声優有島モユさんをはじめ、多くの出演者が華やかにステージを飾り、会場を盛り上げました。また、13日には市公設地方卸売市場（五番町川原）で「市場開放デー」も開催され、早朝から大勢の来場者でにぎわいました。



▲体験コーナーを楽しむ親子

**河津桜植樹式**  
伊豆からの素敵な贈り物

10月10日、関の森公園（旗宿）で「河津桜植樹式」が行われ、白河幼稚園の園児と関係者が、桜の苗木を1本1本丁寧に植樹しました。この桜は「東北に河津桜を!!伊豆から桜プロジェクト2013」の一環で、被災地の復興を願い、NPO法人伊豆のせんたんコンシェルジュ（増田健太郎代表）から贈られたものです。苗木が成長し、早咲きの河津桜が市内でいち早く開花する姿が待ち望まれます。



▲園児と関係者（左から小野県南振興局長、鈴木市長、増田会長）